

第6回 1952 昭和27年度

社会の動き

- 5月 血のメーデー事件
- 7月 破壊活動防止法公布施行
- 11月 アメリカ、水爆実験に成功
- 2月 NHKテレビ本放送開始
- 3月 「バカヤロー」解散

岡崎

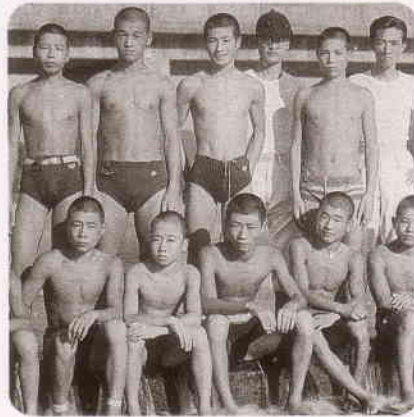
- 6月 市政だより第1号発刊
- 8月 第1回岡崎大花火全国コンクールを実施
- 9月 第15回ヘルシンキオリンピック、水泳銀メダリスト鈴木弘氏（三州岡崎葵市民）郷土入り
- 11月 岡崎市教育委員会発足
- 12月 復興模範都市として建設大臣より表彰

学校の沿革

- 5. 14 修学旅行（3泊4日）
- 6. 20 中学校卓球大会 女子優勝
- 7. 24 1年山岳訓練（1泊2泊）
- 8. 2 2年臨海学習（2泊3日佐久島）
- 8. 17 中学校相撲大会 3位
- 9. 23 西三中学校体操大会 2位
- 12. 5 放送教育研究会
講師：東大教育学部
沢田 慶輔先生
- 2. 15 市民駅伝 2位



当時の職員室風景



大平橋をバックに 水泳部



メダル授与式（鈴木 弘氏より）



野球部



銀メダル受賞の喜びに沸く留守宅
（鈴木 弘氏より）

昭和二十年七月の岡崎空襲で家を焼かれ、父を亡くした僕は家族とともに明大寺町から美合町に疎開してきた。昭和二十二年頃、美川中の水泳部は栗田昭夫先生の指導のもと、乙川の天然プール（旧大平橋の下）で連日練習をしていた。当時、岡崎市立高の併設の中学校に通っていた僕だったが、顔見知りの連中も多い美川中水泳部の仲間に入れてもらい、一緒に練習を重ねた。中学校一年の頃、僕は美川中の水泳部のメンバーとともに「美川クラブ」を結成し、連尺小で行われた水泳大会に出場し、見事百メートル自由形で優勝した。美川中の神谷・南・安藤を中心としたメンバースタッフが活躍していた。当時、プールのある学校はほとんどなく、プールを求めて、日清美合工場や戸崎工場などさまざまな所を回った。しかし、このジブシー生活が短時間で集中して泳ぐ習慣を身につけることとなった。高校二年の時、かつて隣家に住んでいた立教大学の水球部出身の杉浦さんに泳ぎを指導してもらい、ぐんぐん力をつけ、県大会でも常に優勝するまでになった。

当時、日本の水泳の力は世界でも指折りであった。が、昭和二十三年のロンドンオリンピックには敗戦国ということで参加できなかった。そこで昭和二十七年のヘルシンキ大会に向けて、若い人材を発掘しようと躍起になっていた。泳ぐたびに記録を伸ばし、インターハイでも全国三位という記録を残していた僕もオリンピックの候補選手となり、高三からは岡崎を離れ、日大三校に編入した。日大には「フジヤマのトビウオ」と呼ばれた古橋選手をはじめ、日本を代表する選手がたくさんおり、刺激を受けた。

昭和二十七年七月のヘルシンキ大会では、昇り調子の中、百メートル自由形と八百メートルリレーに出場。両方とも二位、銀メダルという快挙であった。特に八百メートルでは第一泳者として泳ぎ、二百のタイムは世界新であった。

振り返ると、水泳人生の中でさまざまな人との出会いがオリンピックという最高峰まで僕を登らせてくれた。戦後の苦しい生活の中、スポーツの道に向かわせてくれた母の存在、乙川で指導してくださった栗田先生との出会い、精神面で支えてくださった市立高の水泳部長の長谷川先生との出会い、そして乙川の清流が僕を育ててくれたと、今でも感謝している。

僕は乙川で育てられた

（鈴木 弘氏談）

第7回 1953 昭和28年度

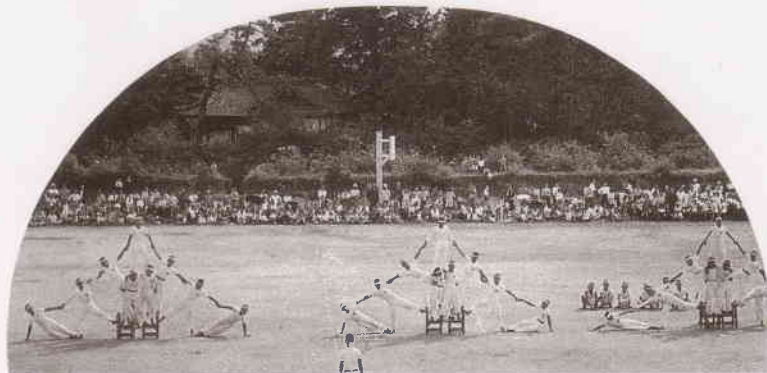
社会の動き

- 7月 朝鮮休戦協定調印
- 8月 ソ連、水爆実験に成功
- 12月 文部省、教育白書を発表

- 岡 崎
- 4月 岡崎桜まつり協賛全国オートバイ競争が岡崎で開催
公営企業法により水道局独立
 - 7月 東海道線電化にともない電気機関車がお目見え
 - 8月 連絡員を改称し「町総代」を復活
 - 9月 大西町に岡崎で初の児童養護施設「平和学園」開園
岩津町で古墳発掘
 - 10月 岡崎競馬場廃止

学校の沿革

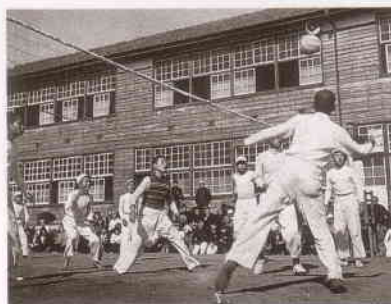
- 4. 22 修学旅行（2泊3日）
- 5. 10 宿直室・便所・職員室・自転車置場新設
- 5. 15 市長杯ソフトボール大会優勝
- 6. 14 市長杯陸上女子優勝
- 7. 4 市長杯卓球女子準優勝
- 7. 16 水泳訓練2年（大平橋）
- 7. 29 臨海学習（西浦）
- 8. 23 同窓会結成式挙行
- 9. 8 中学校軟式野球準優勝
- 12. 5 軟式新チーム野球リーグ準優勝
- 1. 2 第1回美川中同窓会開催



運動会



マラソン大会



バレーボール大会

同窓会結成の思い出

大変暑い夏の日だったと記憶している。学制の改革で新制中学ができて5年が過ぎた昭和28年8月のこと、石井卓夫先生のご指導のもと、同窓会の結成会を開催することができた。

結成の会場は、当然の事ながら今のような大きな体育館などない。木造校舎の音楽室兼集会場、少ない生徒だったが全員はとても入れない。今の教室の2、3倍程の広さ、ぎっしり詰めて200人程、入学式も卒業式もそこで行われた。

流れる汗をふきながら総会の行事を進めたように覚えている。狭い会場で初めての同窓会だったためか、入り切れない程の会員の参加をいただいで、盛大に開催できたように思う。

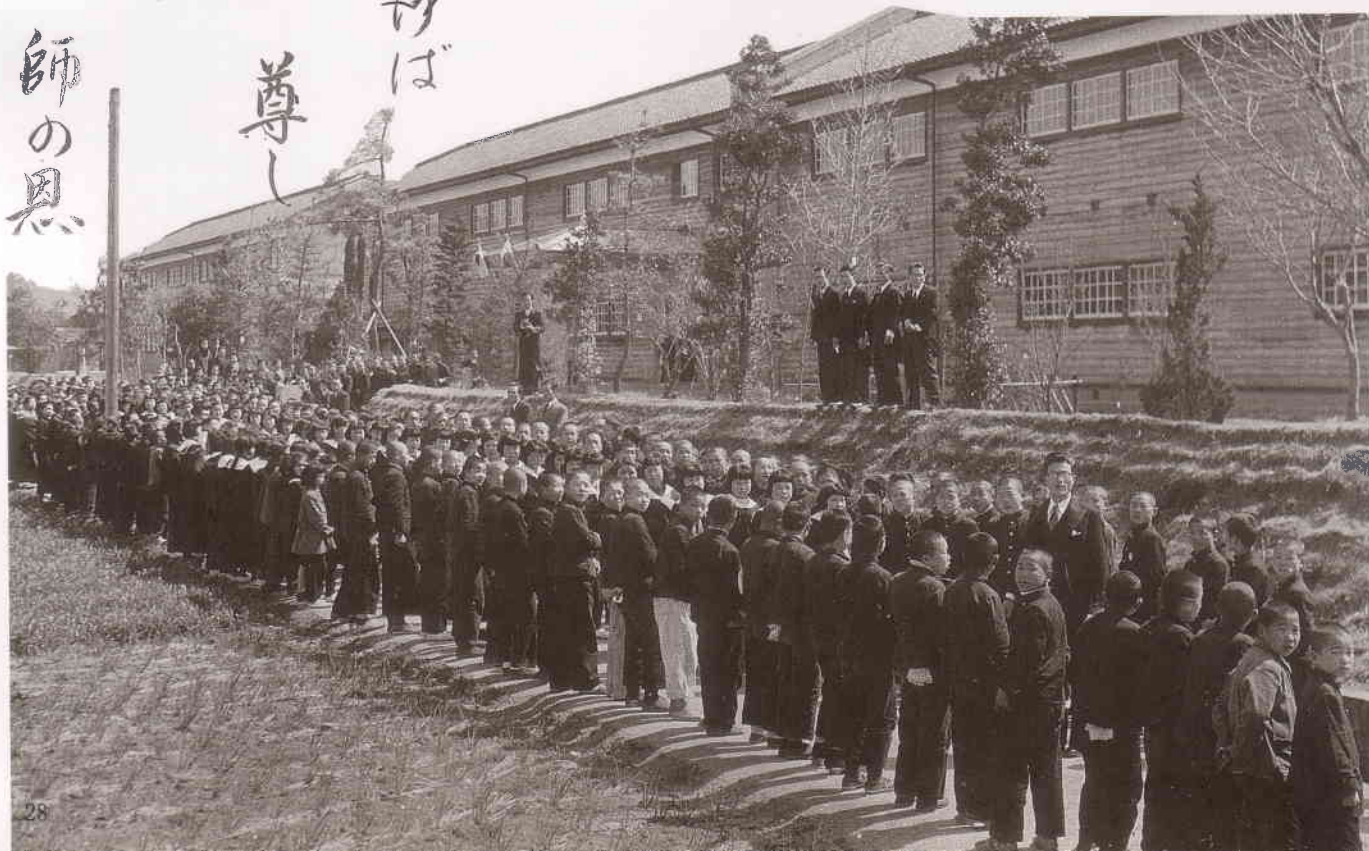
(初代同窓会長 神谷永一氏談)

わが



尊し

師の恩



卒業式後の見送り



第3代 内田 克治 校長
(昭和29.4.1～昭和32.3.31)

社会の動き

- 4月 文部省、社会科学習指導要領の大綱を
発表
- 6月 教育二法公布
名古屋テレビ塔開業
- 7月 自衛隊・防衛庁が発足
インドシナ休戦協定調印
- 9月 台風15号で洞爺丸が遭難、死者行方不
明1,183名

岡 崎

- 4月 名鉄市内線の殿橋～康生間が複線化
- 5月 岡崎市小中学校視聴覚教育協議会設立
- 6月 自治警察を廃止し、岡崎警察署を設置
- 10月 美合町追進農場(現農業大学校)に「農
民センター」を完工
県立愛知病院(結核療養所)完成
- 11月 「岡崎市戦災復興誌」を発刊
- 2月 福岡町・竜谷村・藤川村・山中村・本
宿村・河合村・常磐村・岩津町が岡崎
市に合併
(編入面積22.70km²、総面積190.15km²)

学校の沿革

- 5. 5 修学旅行(2泊3日)
- 7. 4 市長杯卓球大会・準優勝
- 7. 16 宿直室便所建設
- 7. 30 2年臨海実習(西浦海岸・2泊3日)
- 8. 7 1年山岳訓練(1泊2日)
- 9. 11 市長杯ソフトボール大会・準優勝
- 9. 14 台風12号のため休校
- 11. 3 市長杯バスケットボール大会男子2
位
- 11. 10 研究発表会開催
「学習指導の困難点について」

当時の思い出

3代校長 内田 克治

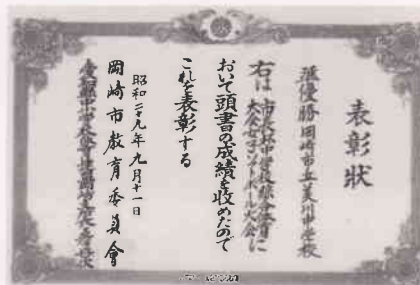
私の在職中、今も忘れられないことの一つに、視聴覚教育があります。当時の教育長、課長のご指導で、視聴覚ライブラリーを創設したことです。当時は甲山中学校の佐藤校長でありましたが、美川中学に事務所を置くことになって、私も一役買って、教材フィルムの利用についていろいろ研究協議会を持ちました。新しい問題で視聴覚教育とは何だろう、という程度でさっぱりわけがわからない。教具だという人もあるし、教材だという人もあって面白かった。

当時大いに活躍したのは、阿部俊房君、石川博君、渡辺尚三君、犬塚惣十君、加藤義夫君等、その他多数の先生方のご協力で県下に冠たるライブラリーが出来ました。三島小学校の講堂を借りて、国立教育研究所の先生方を招いて研究会を開いたことも記憶しています。

(「創立20周年記念誌」より抜粋)



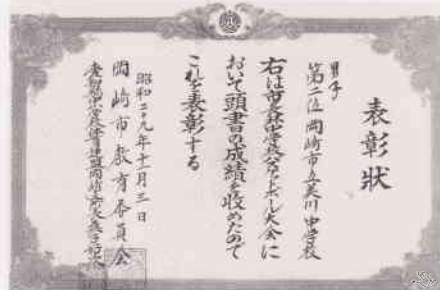
市長杯卓球大会



市長杯ソフトボール大会



生花クラブ



市長杯バスケットボール大会

第9回 1955
昭和30年度

社会の動き

- 4月 バンドンでアジア＝アフリカ会議開催
- 5月 ワルシャワ条約調印
- 7月 ジュネーブ4巨頭会談開催
- 8月 民主党、教科書非難を本格的に開始
- 9月 砂川事件
- 10月 社会党統一大会
- 11月 自由民主党結成

..... 岡 崎

- 4月 矢作町、岡崎市に合併
(編入面積22.70km²、総面積212.85km²)
- 7月 岡崎市合併祝賀自動車行進
- 10月 国勢調査実施
(面積212.85km²、人口155,902人)
- 12月 河合中学校完工
二七市始まる

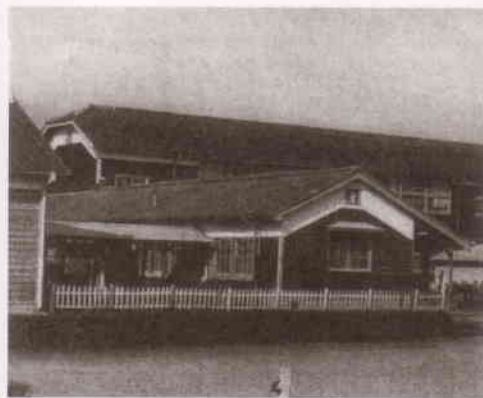
学校の沿革

- 4. 22 修学旅行(2泊3日)
- 7. 5 校舎竣工記念式
岡崎市ライブラリー事務局を本校に設置
- 7. 10 市民剣道大会・優勝
- 7. 21 2年臨海学習(東幡豆・2泊3日)
- 7. 24 昆虫採集の会開催
名和昆虫研究所長来校
- 7. 30 1年山の学習(鳳来寺)
- 1. 29 市民駅伝大会・3位

視聴覚ライブラリー事務局



16ミリフィルムの棚



事務局が設置されていた棟
(一番手前の教室が洗濯実習室)

昭和29年(1954)5月、県下に先がけて「岡崎市小中学校視聴覚教育協会」を設立し、昭和30年(1955)7月に事務局が美川中学校に置かれた。美川中学校は視聴覚教材がそろっており、授業に映画を取り入れ、岡崎市内でも先進的な学校であった。その頃ほとんど使われていない洗濯の実習室を改造して事務室を設置した。

(「岡崎の視聴覚教育—40年のあゆみ—」より)

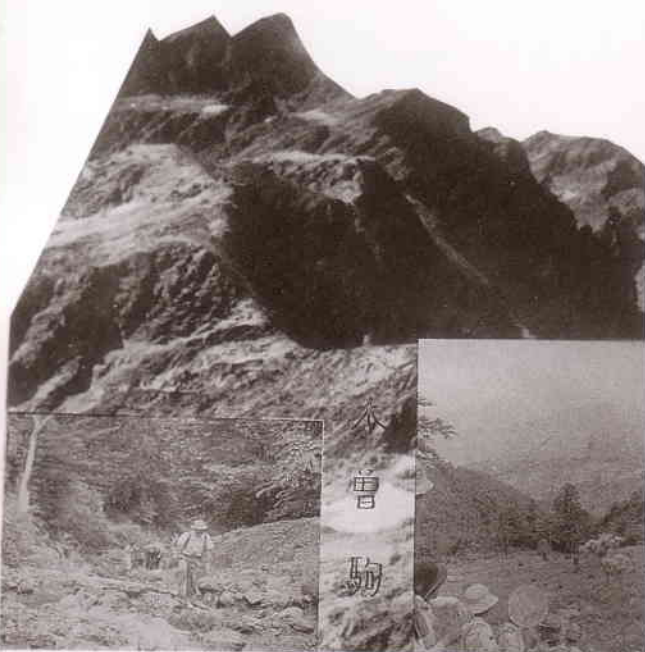


昆虫採集

思い出

山については、思い出すことがある。それは木曾駒高原のキャンプ、ここに刈谷南中が毎年参加しており、テントに余裕があるので便乗してはどうかと、加藤義夫先生を通して話があったのが昭和30年の夏。早速3年生の希望者が参加するということで、都築孝太郎先生を長として、加藤義夫、浅井金一の両先生とわたしの4名の引率で出掛けた。中央線は未電化、冷房のない列車で次から次へと現れるトンネルに窓を開けたり閉めたり、それでも一瞬の油断から客車内に煙が充満——、ゴホンゴホン。やっと木曾福島に着いて、バスでキャンプ場へ、白樺林の中のキャンプ村は、奥三河とは違って本当に山の中へ来たという思いがした。

(元職員 中根 洋氏著 「樺」より抜粋)



木曾駒



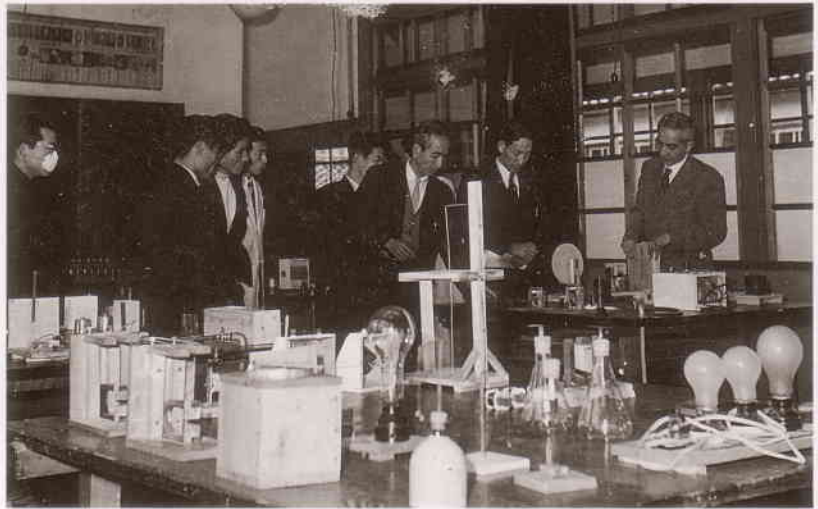
木曾駒キャンプ

社会の動き

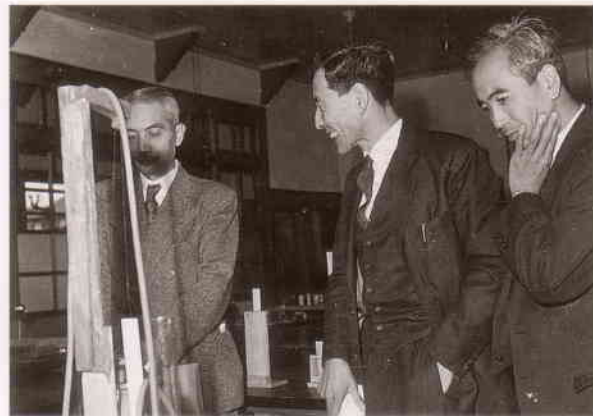
- 10月 日ソ共同宣言
ハンガリー動乱
スエズ戦争
- 12月 国際連合総会で日本の加盟案を可決
..... 岡 崎
- 4月 名古屋工業大学の城戸教授を招いて、
岡崎城再建現地調査開始
- 5月 南北亭の修復完成
東部簡易水道が完成
- 7月 蒲郡競艇場（昭和30年8月発足）
岡崎・蒲郡両市直営
- 2月 市議会協議会で岡崎城天守閣の再建案
決定
- 3月 大西配水場が給水を開始

学校の沿革

- 5. 11 修学旅行（2泊3日）
- 7. 24 昆虫採集会
- 7. 28 2年臨海実習（西浦海岸2泊3日）
- 8. 6 岩石採集
- 8. 17 理科実験道具製作開始
- 8. 19 植物採集
- 10. 13 国民体育大会旗リレー
- 1. 5 禽舎落成
- 1. 14 理科教育研究発表会開催
講師：文部省嘱託 木平 孝男



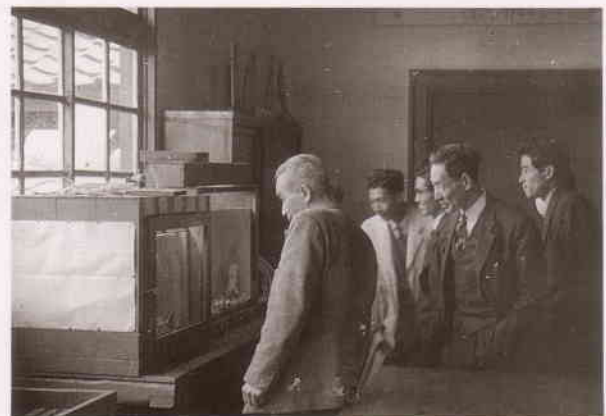
手作り理科教具



野村視学来校



理科授業風景



手作り水槽

思 い 出

理科の研究と決定した時から理科部員はたいへんな忙しさで、研究はもちろん授業に必要な教材や機材の充実に精一杯の努力をすることに なったのである。その一つが標本採集のため理科部一同そろって篠島へ出掛けたこと。船便の都合で土曜日、早目に授業を切り、蒲郡から篠島へ、着くとすぐ磯採集。この島は海水浴のできる砂浜と生物が豊富な磯浜があるという好条件に恵まれ、多くの標本を採集することができた。夜はお寺に宿泊。朝はまだ薄暗いうちに起きてボートでプランクトンの採集。プランクトンは明るくなると深いところに移動してしまうので、ネットを引くのは夜が明ける前にやらなければならない。まだ明けやらぬ海を沖に向かってボートを漕いでいると、目に見えない力で引かれているような感じが不気味になった。後で聞いたところ、われわれがネットを引いたのは三河湾の内側と外側の境になる所で、少しでも外海へ出ると潮の流れでボートではどうしようもなくなるとのこと。運よく助かったが、知らないということでは恐ろしいものだと思つた。成果はいかがと顕微鏡で見ると、初夏という季節のせいで、たくさん種類の種類が見付かった。

（元職員 中根 洋氏著「樺」より抜粋）